



▲本町選手団結団式で甲斐町長に選手宣誓をする代表選手

郡内優勝を目指して 第75回上益城郡民体育祭

7月12日（土）、13日（日）スポーツの普及と健康増進を目的とした上益城郡民体育祭が、御船町を主会場とする郡内各会場で開催されました。本町からは、陸上競技をはじめとする13種目に出場し、各地で熱戦が繰り広げられました。種目別では、昨年に引き続きソフトテニスが優勝、女子グラウンドゴルフも優勝を飾り、町の総合成績では4位となりました。



▲晴天のなかグルメなどの出店でにぎわうコモンイドエ・キャンプ場

キャンプ場でフリマデビュー コモンイドエでフリマ&マルシェが開催

7月6日（日）コモンイドエ（旧井戸江峡キャンプ場）で、フリマ&マルシェが開催されました。会場は初めてフリーマーケットに出店された方のお店や、かき氷やりんご飴のキッチンカーが並び、1日こども店長体験やたまねぎの詰め放題、七夕祭などでにぎわいました。来場者は、レーザー彫刻でのキーホルダー作りなどの体験やグルメを味わい、大いに楽しみました。



▲くまもと県民カレッジ認定講師の深谷良子さんの講演会の様子

健康年齢を心豊かに生き抜く 令和7年度町公民館主催講座・講演会が開催

7月9日（水）町生涯学習センター「輝」・ホールで町公民館主催講座・講演会が開催され、講師のくまもと県民カレッジ認定講師の深谷良子さんが「健康年齢を生き抜く！」と題して講演されました。深谷さんは年齢ではなく心の持ち方によっておだやかに過ごせることを、100歳まで生きた自身の母親の話を交えて講演。参加者は、「どこか両親のことを懐かしく感じるお話でした」と感想を述べました。



▲福井熊本河川国道事務所長（右）へ要望書を手渡す甲斐町長

地域の安心・安全を守るため 緑川河川整備促進についての要望活動

6月20日（金）国土交通省熊本河川国道事務所、本町を貫流する一級河川「緑川」の管理を行う同事務所に対し、堤防の整備や河川の浚渫^{しゅんせつ}および樹木の伐採等の河川整備促進について要望活動を行いました。

甲斐町長は「激甚化する水災害に対し、地域住民の暮らしを守るため、要望事項の解決をお願いいたします」と述べ、要望書を福井事務所長に手渡しました。



▲先生や保護者の方に手作りの封筒セットなどを勧める生徒たち

作業製品の販売会を開催 松橋西支援学校高等部上益城分教室

7月3日（木）、4日（金）県立松橋西支援学校高等部上益城分教室の生徒による作業製品の販売会が開催されました。同校工芸班が作った革製品や紙製品、農耕班が育てたマリーゴールドやジャガイモなどが店頭に並びました。校内で開催された今年は、生徒の保護者や同敷地内の甲佐高校の生徒、先生が足を運び、売り切れも出るほどに販売会は盛り上がりしました。

町への寄附企業に感謝状 企業版ふるさと納税制度

7月18日（金）町本庁舎で、企業版ふるさと納税制度を活用し、本町へ寄附いただいた株式会社十八測量設計（熊本市・冨永勝也代表取締役：写真上）と株式会社第一コンサルタント（熊本市・坂口隆之代表取締役：写真下）に甲斐高土町長より感謝状が贈られました。

企業版ふるさと納税制度は、人口減少や地域経済の衰退に悩む地方創生を後押しする目的で作られた制度。本町もこれまでに数多くの企業から寄附をいただき、地方創生の取り組みに活用させていただいています。

今回、寄附をいただいた㈱十八測量設計および㈱第一コンサルタントは、主に道路、河川などの測量、調査設計を行うコンサルタント企業です。

㈱十八測量設計および㈱第一コンサルタントからいただいた寄附金は、安定した「しごと」を創出する基盤づくりや関係人口の創出と定住促進などを基本目標とする「甲佐町まち・ひと・しごと創生推進計画」に基づく事業のために活用します。



▲メッセージ伝達式に訪れた上益城地区保護司会御船分会の一行

明るい社会を目指して 第75回社会を明るくする運動

7月8日（火）、「第75回社会を明るくする運動」のメッセージ伝達式が行われました。同運動は、犯罪や非行の防止と罪を犯した人たちの更生について理解を深め、明るい社会を築くことを目的として全国で展開。上益城地区保護司会御船分会の一行は、甲斐町長に内閣総理大臣および県知事のメッセージを伝達。伝達式は上益城郡内4町で行われ、伝達後に啓発活動を行いました。



▲甲斐町長から感謝状を受け取った冨永代表取締役（左）



▲甲斐町長から感謝状を受け取った坂口代表取締役（左）